

中田かわら版 6 月号

～中田地区の地域活動をお知らせします～

発行：中田地区経営委員会

協力：中田連合自治会 泉区役所

制作：中田かわら版制作編集委員会

横浜市踊場地域ケアプラザ

■中田連合自治会総会（4 月 28 日）を終えて

四期目続投 上原敏博会長に聞く

宮田：久しぶりに総会を傍聴させていただきました。
今回は役員改選もあり最後までいました。改めて
会長続投のご感想は。

上原：とにかく忙しい職務ですね。仕事の範囲が広い。

宮田：連合自治会の会長として「現在どんな種類の役があるのか参考に教えてください。

上原：会長職だけでも 9 つ。「踊場地域ケアプラザ」「立場地区センター和の会」「中田少年少女発明クラブ」「葛野小学校学校運営協議会」「泉地域活動ホームかがやき運営委員会」など。他には「ロータリークラブ」「オアシス 21 世紀の会」「中田ジュニアマーチングバンド」「泉区第九演奏会実行委員会」などですが相談役、代表、理事長を含めると、さらに増える。「立教大学横浜立教会」会長も。

宮田：立教に入ったのは巨人の長嶋茂雄に憧れて、と聞いています。

上原：大ファンです。立教は人気のある六大学リーグであり最初から決めていた。しかし腎臓の大病になり選手になるのは諦めました。

宮田：ところで会長として、いま一番関心をもっていること、やりたいことは。

上原：この地域（中田）に住んでよかったと言える「ふるさと」づくり。泉区は他の区に比べて人口が増えている。特に若い家族が移住してくるのは嬉しいこと。いろいろな分野で魅力ある中田を考えていきたい。

宮田：最近、新聞、テレビで大きく取り上げている大地震の問題。住民が一番心配なのは連合自治会が具体的にどんな対策を持っているのか。食料備蓄、情報、医療などについて。

上原：東日本や能登の大規模な災害対策まではできていない。でも早急の問題であり取り組んでいく。現在、中田地区経営委員会と協力して危機管理対策委員会を新設し、地震、風水害、疫病などに対する備えを万全、かつ組織の統一や情報伝達の一本化を図る体制作りはすでに進めている。連合自治会でも消防署と連携し防災訓練、各町会での防災訓練を行っている。同時に住民の防災意識も高めていく必要がある。

宮田：「福祉避難所」の方も、しっかり考えてほしい。視覚障がい者、聴覚障がい者などの対策だが。

上原：具体的にはまだ進んでいない。が、重要な問題なので対策を考えたい。

宮田：貴重なお話をありがとうございました。



波乱万丈の人生を経験した苦労人上原さん。素晴らしい会長をもったことを私たちは誇りに思っている。
(宮田貞夫)

■郷土歴史家・小島貞雄氏の功績 <3>

編集者という名の「小島貞雄」 宮田貞夫

「編集とは」一資料をある方針、目的の下に集め書物、雑誌、新聞などの形に整えること（広辞苑）とある。そして巻末に編集者あるいは編集筆頭者として名前が列記される。新聞社や雑誌社の整理部（係）と似ている。読者に誤りのない内容、表記・表現を提供する。具体的には誤字もなく、特定の個人や団体、地域に不快感を与えていないか、技術的には書体、級数（活字）、字間、行間、拗足字、句読点、中丸など広い知識が要求される。美しい紙面づくりには欠かせないものだ。編集（者）とはそれほど重要であり、完成の後には喜びと名誉が永久に記録される。

今回、小島氏が、関係している本、雑誌、ガイドブックなど5点に携わった人たちの名前もあえて列記した。例えば宮本忠直、小澤明夫（中田）、大橋俊雄（岡津）、有馬純雄（上飯田）氏らは泉区で戸塚区から分区した昭和60年11月までは「戸塚区歴史の会」に所属していた。泉区で「歴史の会」が発足した時は発起人として創立に貢献した人たちである

■『中和田郷土史』（正文社）348ページ。昭和48年3月25日発行（横浜市立中和田小学校創立80周年記念事業委員会）

<編集執筆者>委員長・小島貞雄、安西 實、宮本忠直、小澤明夫、宮沢 梅、小野正敏、石井民也、中野和子、上嶋栄子

■『ふるさと中田』（桜文印刷）

昭和52年11月3日発行（中田連合自治会創立10周年記念事業実行委員会）

<編集委員>宮本忠直、小島貞雄、阿部 繁、福岡正夫、清水真司、山口寅蔵、宮田貞夫

■ガイドブック『戸塚の散歩みち』204ページ。昭和53年1月25日発行（「みんなで探そう郷土歴史」実行委員会）

<編集委員>内田四方蔵、大橋俊雄、有馬純律、小島貞雄、小澤明夫、三橋景子ほか。

■『戸塚くるぶ』（歴史と風土の道しるべ）69ページ、昭和58年3月10日発行。郷土戸塚の歴史の会・戸塚区役所。なお本のタイトルにある「くるぶ」とは歩く、見る、学ぶを表している。

<編集委員>内田四方蔵、大橋俊雄、有馬純律、小島貞雄、小澤明夫、加藤正司氏ほか。

■『いずみ いまむかし』（リョーイン）220ページ。平成8年11月3日発行（泉区制10周年記念出版）泉区小史編集委員会。

<編集・執筆者>有馬純律、安西 實、大橋俊雄、関水俊道、小島貞雄、宮本忠直、斉藤多喜夫、関水宗孝。

編集後記

過疎化が言われて久しい。人口減少社会どうなっていくのだろう。先日の読売や朝日新聞朝刊に、50年までに県内6市町が消滅する可能性があるとの記事があった。三浦市や箱根町等などの名がある。ピンとくるのは少子高齢化だが、「人口戦略会議」では、20歳から39歳の若年女性人口が判断材料らしい。中田地区では原因は他にあるとしても2町会が脱会した。もっと恐ろしいことが書かれていた。全国1729自治体中自立可能は65自治体。なかなかピンときませんが。 河内満明

◎発行：中田地区経営委員会「かわら版」制作編集委員会

委員長 宮田貞夫 編集長 松本正

編集委員；山木重樹、小島敏子、田中進、河内満明、松本純子、鈴木賀津彦、嶋 宏之